NIPPON INSTITUTE OF

平成20年(2008年)3月20日発行

TECHNOLOGY



100周年記念の平成19年度が終 わろうとしているが、学園第二 世紀はこれからが本番。今後も

飛躍的に高まっているからに他時代に、新たな学びの手立てが

まとの場からでも時代に即応す りません。と申しますのは、 の枠組みを据え直さなければな る気構え、自分なりの新たな知 なりません。 ことほど左様に、諸君も、

変わらぬ御支援をお願いしたい。 左は、100周年記念シンボルマ ーク。無限を表す「メビウスの 環」をモチー されている。

いわゆるポスト産業資本主義の 動力になっていくと指摘される、 報〉が従前にもまして経済の駆 は、〈技術〉〈知識〉そして〈情 環境や制度を整えました。狙い の工業教育の磁場にふさわしい 年を迎え、それを機に、新時代 とにおめでとうございます。 本学園は昨年、創立100周 学位を取得された諸君、 まと

では、「日本は没落する!」「も

ちなみに昨今の企業社会など

などを身につけるためには、

第

そして、それらの知力や見識

に、つねに耳目を働かせて世

見出していって下さい。

大学院へ進まれる諸君は、ど

ながら自分なりの生きる道筋を るはずですから、それを参照し 業績や責務を遂行して行かなけ 庁など各組織社会で期待される

ればならないからであります。

すます厳しさの度を増す時代変

化の渦中において、企業や諸官

るか、ふかく洞察できる見識と

言っていいでしょう。

礎的な方法論に関しては、

に諸君は大学で教えを受けてい

かありません。道を切り拓く基 己の力で道を切り拓いて行くほ

会的にどのような意味を持ちう

力。加えて、その企画製品が社

とであります。

さらに申し上げれば、今後は

と指摘されるさなかで、生き残 はや経済の一流国ではない!

ある人材育成に躍起です。 りをかけて、有能かつヤル気の

門知の学び直しが肝要です。 する技術革新に対処できる、 と。そして第二は、次々に生起 の中の事象や動向を観察するこ

そこで私は、ここに諸君への

諸君の活躍の舞台であるへも

果敢にアイデアを産み出せる知 能力とは、諸々のアイデアを具 のづくり〉の世界で希求される 己の活躍の場を拡げるためには ことは言を俟ちませんが、より 現化する高度な専門技術にある

物を造る、また「冶」とは冶金

ださい。諸君のご健闘を、

衷心

国別で見ると、中国29、

心ゆたかな人生を築き上げてく ツ等にも大いに親しみ、どうか

言い添えれば「陶」とは焼き

うや)という言葉を声を大にし はなむけとして「自己陶冶」(と

> しているはずです。 君の独創的な眼差しを、 を仕上げて下さい。先生方も諸 うか研究に邁進して、いい論文

心待ち

それでは、時に趣味やスポー

こ贈りたいと思います。

の治で金属を精錬するという意

学位取得おめでとう ができるに違いありません。 ほかならぬ、諸君にエンジニア んできたことでしょう。それは、 究室に泊り込むなどして打ち込 実験、研究、設計、制作に、研 ぞれの技術を磨いてきました。 ステム工学、情報工学と、それ 魂を育んできた日々ということ 学、電気電子工学、建築学、 スタートを切るのです。 諸君は本学において、機械工 日本工業大学の強みは、理論

を現場に活かす実工学をそなえ 理事長 大川陽康

> ていただきたいと思います。 みなぎらせてきたのが、本学で の学びの積み重ねだと胸を張っ を、実現するんだという意志を 論を実現する工学と考えること あり、まだ形にされていない理 もできるでしょう。そうした力 さて、この時代に技術を学ん

りをかけ、他社よりも数値とし て優位に立っていなければなら や環境配慮といったゆるいもの 業においては、環境対応は、よ ない、といった競争の時代に突 ています。企業としての生き残 ではなく、数値が突きつけられ りシビアであるでしょう。もは 人しているといわなければなり

温暖化問題は、今や待ったなし

せん。気候変動、いわゆる地球 地球に目を向けなければなりま

です。南太平洋の国々の水没の

危機は進行しており、日本にお

いても温暖化は、米作への影響

などが指摘されています。石油

躍するフィールドである、この

プに踏み出す諸君は、諸君が活

だ者として、人生の次のステッ

が期待されているのです。 書以来のリーダーシップの発揮 うに思えます。日本は京都議定 取り組む姿勢を見せはじめたよ 国も、ようやく他の国とともに アメリカなど炭酸ガス排出超大 食糧問題の脅威といわれます。 バイオ・エネルギーは、世界の

諸君の職場となるであろう企

ご卒業おめでとう

を迎えたこのとき、諸君もまた 大いなる人生の次のステップの

本学園が第2世紀のスタート

い方をすれば、実行する工学で

実現する工学をそなえた

代替エネルギーとして浮上した

送り出すことになる。ちょ

り神田キャンパス近隣の居

とどまらない。 の交流は教室内で ングな体験である にとっても新鮮

学外、つま

| は出来る限り本大学院の運

存在している。

|フォーマルの別なく、学生

ている。フォーマル、

ろうが、それにしても大変

ン」では社員達から毎年、

有名なトヨタの「カイゼ

案が寄せられるという。中 には重複するものもあるだ

100万件以上の意見や提

な数である。こうした社員

から寄せられた意見、提案

達の真摯な声があってこそ

世界企業としてのトヨタが

での講義に る。彼らと かつスリリ

本専門職大学院もこの3 |

い技術的課題なのです。

表によれば、これからの技術ト 先的に取り組まなければならな 調査を待つまでもなく、エンジ だともいっています。そうした が、環境に優しい情報通信技術 レンドの第一位に挙げられるの ニアにとって、環境はもはや優 アメリカのある調査会社の発

環境負荷を限りなくミニマイ うど3年前のこの季節に期

20代後半から70歳までの

リエンテーショ

にあわせ

て学生と教職員の「意見交

|の改定につながるなど、学

である。

、教授(教務委員長)

宇野永紘

20年度の授業カリキュラム るいはこの4月から始まる の見直しが行われたり、あ

を改めて痛感している次第 ァクターになっていること

生達の声は、今や、本大学

換会」を開催して

学生の意

冬学期の期初に行われるオ

して珍しくない。

本大学院として

も夏学期

い議論に発展することも決 酒屋での深更にまで及ぶ熱

学生の真摯な声がベースに

みで存在するわけではない

社会人大学院も教職員の

参画が欠かせない重要なフ そこには学生達の積極的な れている。実際、この種の 営に反映されるよう配慮さ

なって、事務室の運営体制

人を超える技術経営修士を 月でいよいよ累積で100 専門職大学院だより

学の力を発揮していくことは、 紀を歩む本学とが、ともに実工 タートを始める諸君と、第2世 期待に応えるために、新しいス 責務を果たし、かつ社会からの す。今日のエンジニアとしての 学たる実工学の自負をもって、 の人類の課題です。実現する工 思っています。健闘を祈ります。 たいへん喜ばしいことであると 諸君に、この大きな仕事に挑戦 ズする生産システム、消費スタ していただきたいと願っていま イルを作り出すことが、21世紀 年齢の違いもさることなが のことを思い出すと、感慨 相手の日々は、我々教職員 | 見、提案を聞く機会を設け | 院運営の重要な要素になっ が異なる多彩な社会人学生 ら、職歴や人生経験すべて もひとしおである。 新しい大学院を開校した頃 待と不安に入り混じる中で

でも、のちの自己陶冶を怠ると つまり最高の教育を受けた人間 **人物にはなり得ない、というこ** すで

尊敬される人間や社会に役立つ

焼きを入れ、鍛えるということ

味ですが、転じて、人間も時に

をやらないと、ものにならない

カレッジマイスタ



機械加工工房の学生たち



齋藤章裕、鈴木明文、奈良 俊春、小林明博、小柳真樹

留学生別科38名修了

友会館ホールで行われた。 月1日午前10時30分から学 | モンゴル各1である。 程の修了証書授与式が、3 | ラビア、タイ、 留学生別科日本語研修課 | バングラデシュ

ミャンマー、ベトナム各210学部への進学を 学の2名が、成績優秀によ の進学と研究生希望が計る 名いる。別に、19年秋季入 へ進学するほか、 修了生の16名が本学学部 大学院へ

春季入学生36名と18年秋季 今回の修了者は、平成19年

入学生2名の合計38名。

イタリア、 サウジア 学長から記念品目録を受取る別科生代表

山崎

電子創造工房 小松拓哉、小澤一義、 物理体感工房 3名 和俊、Kanchan Manandhar

趙正陽、植田恵理、岡崎文 郡司一仁 サステナブル建築工房 4名

され、本年度はカレ ッジマイスタープライマリー4 ターエクセレント11 ログラムは全学的に整備・構築 れらの工房で技を磨き総合的な 工房の計15工房が活動した。と 本学の教育の柱、T 一房、カレ ジマイス 一房教育プ イスター」、「カレッジマイ 一号が与えられる。 スタープライマリー」の称 判断力を身につけた学生に | 邦夫、田渕大、田村聡昭、 ターは次の5工房から23名 は、それぞれ「カレッジマ 光洋、杉原光、平久悦之 機械加工工房 5名 科専門オリエンテーション 授与式は、来年度4月の学 4工房から35名が誕生する。 ■カレッジマイスタープラ られる。また、「カレッジマ ■カレッジマイスター 時に行われる。 で認定証と金メダルが与え| が認定され、学位記授与式 型技術工房 7名 池田紀龍、市川賢一、菅原 イスタープライマリー」は 本年度、カレッジマイス エンジン工房 6名 青木隆浩、君島一弘、鈴木 中田康、西岡京治郎 裕也、原口雄大、森本容弘、

イマリー

柏本真司、平山義剛、山城、皆川侑太、山澤逸郎、出居 剛司、加藤駿規、川上紘史 三浦章慶、石垣大介、笠井 敬人、大堀英之、笠井真吾、 茂木一歩、吉田尚弘、井内 許昌龍、高瀬鍛、中澤康志 ものづくり入門工房 27名

佐竹忍 2×4木造建築工房 ネットワーク構築工房 4名 舘山慈人、根本安曇、 割田親都 亮、茂木佑介 1 名

おめでとうございます

課程博士



となる懇親昼食会が開催さ 第6 側も憂慮しており、鋭意検 た。この件については大学 らクラブ棟の建て替え 己紹介の後、学生側か に関して要望が出され

月

い」と締めくくり、閉会し は気軽に話を聞かせてほ

方を掛け持っているのは、

だ。アルバイト仲間は、

ので安心してもらいたい、 大学内でのアルバイトな

勉強も今まで以上に頑張

ルバイトは、移動の必要 ばしばある。学内でのア ルバイトに入ることもし え、その足で清掃部のア

という気持ちは強くなる。

トに携わっていなかった

れぞれだ。

ら、机に書かれた落書き、

の人が大学を好きでいて

◆中村洋一教授(システ

刀正宣教授 | 国際ワークショップでの論文 |

線形回路と信号処理に関する

ルバイトをやってみたい た。しかし、彼女自身ア は母親から禁止されてい ということでアルバイト

がないことも大きな利点

(前列左から) 吉見課長、清水君、柳澤学長、梅崎部長 (後列左から) 長井君、中村君、齋藤君、岡部君、飯島 君、谷口君、長澤君

第6回懇親昼食会

が8名、大学側から柳 澤学長、梅崎学生支援 部長、吉見学生支援課 自治会の委員長・会長

ながら、和やかな雰囲 気で懇談が行われた。 長が出席。昼食をとり

学生代表、学長の自

学生代表と柳澤学長の イクロマウスコンテスト・

業高校出身)と島崎洋一君 佐川弘樹君(福島県立平工 室に所属する同学科4年の 機械工学科中里裕一研究 迷路の脱出を行わせるもの

業

学

通

信

大

島崎君

「マイクロマウスコンテスト」で受賞

した。同競技はロボットに

ルディングス賞」を受賞

おいて「バンダイナムコホ

マイクロクリッパー競技に

身)が、平成19年11月18日 (日) に開催された全日本マ (東京都立科学技術高校出 で、迷路の探査から脱出方 が、

場するロボットは車輪で移 法の検討まで全てロボット 高い評価を受けた。 作製し、会場全体を沸かせ 動をする機体がほとんどだ 搭載の人工知能で行う。出 両君は歩行型の機体を

> 0 STUDENT FACE

+++++++++++++

部が学生生活の実態につ

平成18年度に学生支援

利用などの話題について、 ンターの運営、 授業への参加、サービスセ 減少問題、体育祭や体育の 過去の成果として、野球場 脇の屋外トイレ設置が実現 ある。実際、この昼食会の したという例もある。 その他、クラブ加入者の 旧図書館の

> の学生が「有」と回答し ねる項目があり、約74% ルバイト経験の有無を尋 中には、大学入学後のア いて調査を行った。その

学生の4人に3

らも学内で会った際などに が行われた。最後に学長が あったが、様々な意見交換 約40分という短い時間では ったということで、これか 「今回お互いに顔見知りにな ターで働く学生は、購買 掃部でアルバイトをして ビスセンター購買部と清 るということになる。 いる。現在サービスセン 在籍する佐々木扶紗子さ んは、日本工業大学サー 人はアルバイト経験があ システム工学科3年に

購買部のアルバイトを終

学内合同企業説明会

生が参加し、約4割が内定

したことや上場会社を中心

催した。 昨年度は9割の学

にかけて、本館を会場に開



り本年度も9割の学生が参

団塊世代の大量退職に伴う 加する盛況振りであった。 とした有名企業の参加によ

を得て、2月21日から29日 今年度は201 識も高まっている。 また学生の就職に対する意 求人意欲は依然として強く

取近の環境活動

ム「たのめーる」を導入し から納品に至る過程の透明 算執行の不正防止に関する 生が参加し、環境共生意識 の向上が図られた。 演会を実施した。多くの学 営」をテーマに環境特別講 れている鶴田佳史氏をお招 様々な環境問題に取り組ま 環境特別講演会 平成19年12月7日(金)、 「地球温暖化と環境経

性が高いウェブ調達システ

基本方針」に基づき、発注

日本工業大学における予

たのめーる」導入

EMS推進協議会

今後、宮代キャンパス全体 入手段として運用を開始。 部門における消耗品等の購

た。平成19年12月から事務

に拡大していく予定である。

平成20年1月11日 (金)**、**

大学と学生のコミュニケー の窓拭き他を19時~21時 週3日。清掃部では建物 のワックス掛けや本館 陳列を1日3~4時間、 購買部ではレジと商品

いる。授業がある時は、 まで、週3~4日行って もちろん授業が優先だ。 でき面白いという。

でアルバイトの経験はな かった。大学に入ってか 彼女は、大学に入るま 学生の本分は勉強

つの学びの道

■アルバイトは

扶紗子さん 佐々木 システム工学科3年

して、2年生の春、サー う。ここから彼女のアル バイトはスタートした。 とを友達から教えてもら ルバイトに欠員が出たこ ビスセンター清掃部のア

た。もし、このアルバイ を大事にするようになっ 今まで以上に大学のもの バイトを経験したことで、 彼女は、清掃部のアル と、彼女は「好きです」 と断言してくれた。大学 前向きである。最後に に対して抱く思いは人そ 「日工大はどうか」と問う 限り採用していきたいと も真面目な学生をできる るだけだが、これから先 生アルバイトについて今 は欠員が出た時に補充す センター佐藤部長は、学 いるという。 雇用側であるサービス

大学によるリカレント教育」共同実施、 埼玉県と協定書締結

上田知事と県内4大学が協定書の交換(左から2人目が柳澤学長) 25日、埼玉県庁で上田知事 呼びかけに応え、昨年12月 期より「日本建築史」、「建 部生と共に受講する。春学 内在住の55歳以上の方、学 交換が行われた。対象は県 と柳澤学長の間で協定書の 学ウェブページで公開中。 ギー」を開講。秋学期は別 築計画3」、「環境とエネル 加を目的とする開放授業の 科目を開講する。要項は本

があり、理解を深めると共 生双方から取り組みの紹介 間ではあったが、大学、学 会を開催した。限られた時 館会議室でEMS推進協議 ションを図るため、学友会 ついても意見交換を行った。 今後の環境保全活動に 4001規格要求事項に適 て参加した。監査は、宮代 部監査にオブザーバーとし 2日間、宮代町のISO内 れているかなどの事項を確 町のEMS活動がISO1 +++++++++++++++++ 平成20年1月23、24日の

オブザーバーとして参加 宮代町のISO内部監査に (ISO推進事務局)

説得し、許可を得た。そ るという条件で、母親を

学科の情報も聞くことが な意見が出てくるし、他

事を進めるにもいろいろ

ることを心がけている。 いても高いものを持って はみんな、ゴミの分別は 清掃部で働いている学生 もちろん環境の意識にお

大学院)

教育系)◆石田之則教授(電 気電子工学科)◆市橋重勝教 教授(情報工学科) (システム工学科) 授(建築学科)◆渡辺顯教授 育系)◆藤崎雅彦講師(共通 系)◆鈴木康之教 ◆酒井誠教授

英世助手(機械工作センター) (学生支援

◆増田伸爾教授 (3月31日付) (専門職大学 員(専門職 語関連取材・資料収集◆中村 ア (3/4~9) /目的=非 科)/出張先=オーストラリ俊一郎教授(電気電子工学

ラム関連打合せ、建築及び英

| 今は「運」の強い時である。 それをアドバンテージとし

やはり運・不運で言えば、

の成果ではあるのだけれど、 ある。もちろん諸君の努力

おごらず謙虚に、そして、

勇気を持って活躍して欲し

目的=多文化理解教育プログ

7年問題」もあり絶好調で

現在の就職戦線は「200

て歩を進めてもらいたい。

をとり、次の目標に向かっ

シニアの積極的な社会参 新成人式講演会

後援会

新入会員説明

懇談会

満

宮例

祭

平成20年度日本工業大学

平成20年度の7

された。

昨年10月、小山崇敬会会長

時から天満宮社前にて挙行 天満宮例祭が、2月23日11

会の支部主 八学予定者

催された。プログラムは若 は現在18歳で、後輩の立場 等で人気上昇中のグラビ 手お笑い芸人の「ワリカン る第27回成人式講演会が開 トークショー。特に南さん ア・アイドル「南明奈」の ジャパン」のライブと雑誌 にて、学生自治会主催によ 時30分より学友会館ホール 平成20年1月17日午後6 かった、先輩の体験談を聞 学前の不安が解消できて良 月27日 (日) から3月16日 催された。 催による「新入会員説明懇 いて参考になったと好評を (日)まで、 談会(入学説明会 を対象に、後援の

参加した会員からは、入

好天に恵まれた今年の例祭

川理事長、柳澤学長等が参列。 は、川島同会副会長以下、大

なお、例祭の前に開かれ

不在での例祭となった。当日 逝去されたため今年は会長 前会長であった飯田顧問が

全国18会場で開

(i) が、1

から成人を迎えた先輩たち に熱いエールを送った。 ++++++++++++++++

得ている。

センター入試 初めて本学が会場に

憂に終わり交通機

ター試験の試験会場(隔年 日にわたって実施された。 (土)・1月20日 (日) の両 本学は、今年度よりセン センター試験が1月19日

えた受験生は、混乱もなく

2日間にわたる試験を終

無事帰路についた

懸念された雪の心配も杞

を見つければ拾って捨て す、教室の移動中に吸殻 であれば暇を見つけて消 今は、机の小さな落書き 送っていただろうと話す。 づくことなく大学生活を

◆奥住文徳事務職 ◆浅野ミヱ子主任 【退職】 (12月22日)

総務課) ◆企画室室長 ◆森戸秀幸事務職 【任命】 (12月20日付) 【任用】 (1月1日付) 員(総務部

への出席◆中村洋一教授(シ

ステム工学科)/出張先=中

波多野純教授(再任) 〔再任〕◆教育研究 原利次教授 推進室室長 6回画像科学とハードコピー 論文発表◆北久保茂准教授 国(1/9~15)/目的=第 (システム工学科) /出張先= に関する国際会議への参加と

◆村川正夫教授(専門職大学 【定年退職】(3月31 ◆奥寺広政事務職 ◆副理事長 (3月1日付) 柳澤章学長 員(専門職 日付 第6回画像科学・ハードコピ 中国 (1/9~15) /目的=

◆樺澤康夫 授(共通教 (共通教育 ◆田部井 人准教授(システム工学)日本側議長、論文発表◆伴雅 | 先=カナダ(2/13~20)/ (学修支援センター) /出張 の研究発表◆田中隆治准教授 科)/出張先=中国(1/10 科)/出張先=中国(1/10 学と印刷に関する国際会議で ~4)/目的=第6回画像科 野坦之教授(システム工学 ~4)/目的=第6回画像科 −国際会議での論文発表◆星

も無く、両日ともに定刻通 ++++++++++++++++++++++ ◆藤野充平教(CAD/CAM/ 好教授(教職教育センター) (教職教育センター)◆鹿嶋泰 (情報工学科)◆黒澤明教授

的=非線形回路と信号処理に ラリア (3/4~11) /目

工学科)/出張先=オースト 発表◆谷本直教授(電気電子 田川鋭治氏が互選された。

た幹事会において新会長に

CAE演習室) 国外出張 (12月後半~3月)

が行なわれた。

各試験教科の科目試験

業カウンターパート(首都圏 ジメントシステム構築実証事 ◆成田健一教授(建築学 配電公社)との現地合同会議 促進に向けたエネルギーマネ 科) /出張先=タイ (12/23 ~27)/目的=タイの省エネ (3/7~16) /目的=日本国 の論文発表◆成田剛准教授関する国際ワークショップで におけるアジャンター・エロ 政府ODA有償プロジェクト ++++++++++++++++++ (建築学科)/出張先=インド ーラー石窟寺院の保存修復

らいたい。又、こ 諸君、おめでとう ▼学部及び大学院 に誇りを持っても たことに対し大い 目標をクリアーし を卒業・修了した

のなかで勉強のみ

今日から又、何度目かのス タートラインに自らの位置 と多くの友達や知人を得た イト等を通じ、様々な経験 てくれるものと思っていい の人生を必ずや豊かに導い ならず課外活動またアルバ 人は、それらが、これから 編集後記